

**製品名: LRBA ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13401**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	314kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LRBA
別名	BGL CDC4L LBA
遺伝子 ID	987.0
SwissProt ID	P50851
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 1970-2050

**背景**

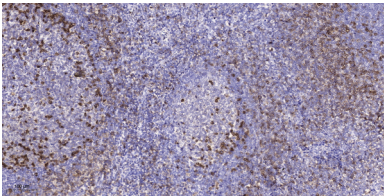
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、WDL-BEACH-WD (WBW) 遺伝子ファミリーのメンバーです。その発現は、細菌性リポ多糖 (LPS) によって B 細胞およびマクロファージにおいて誘導されます。コードされるタンパク質はプロテインキナーゼ A と会

合し、細胞内小胞を活性化受容体複合体へと導く役割を担っていると考えられています。これにより、免疫エフェクター分子の分泌および / または膜沈着が促進されます。この遺伝子の欠陥は、自己免疫性疾患である分類不能型免疫不全症 8 型と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2012 年 12 月]; 注意: 当初 (PubMed:1505956) は酵母 CDC4 と類似していると言われていましたが、その類似性は非常に限られています。誘導: リポ多糖 (LPS) による。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: 1 つの BEACH ドメインを含む。類似性: 6 つの WD リピートを含む。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。